



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 9 日

上場会社名 西日本鉄道株式会社
 コード番号 9031
 代表者 代表取締役社長
 問合せ先責任者 広報室広報課長

上場取引所 東証一部・福証
 URL <http://www.nishitetsu.co.jp/>
 長尾 亜夫
 秋沢 壮一

TEL (092)734 - 1217

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	83,893	0.3	3,950	14.8	3,685	17.6	1,657	26.0
19年3月期第1四半期	84,152	12.2	4,638	4.4	4,473	2.4	2,240	13.3
19年3月期	355,301		20,071		18,655		8,763	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	4.19	-
19年3月期第1四半期	5.66	-
19年3月期	22.14	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	423,389	116,228	26.9	287.75
19年3月期第1四半期	429,628	111,807	25.5	277.22
19年3月期	423,625	115,847	26.8	286.84

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	5,336	3,562	2,159	29,534
19年3月期第1四半期	7,639	5,295	6,869	35,853
19年3月期	29,413	19,659	10,940	25,599

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	173,700	0.6	7,300	23.6	6,300	29.4	2,900	34.0		7.33
通期	366,800	3.2	17,000	15.3	14,900	20.1	7,000	20.1		17.69

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期の業績(連結)は次のとおりです。

営業収益は 838 億 9 千 3 百万円(前年同期比 0.3%減)、営業利益は 39 億 5 千万円(前年同期比 14.8%減)、経常利益は 36 億 8 千 5 百万円(前年同期比 17.6%減)となり、四半期純利益は、16 億 5 千 7 百万円(前年同期比 26.0%減)となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

運輸業では、鉄道事業で宮地岳線(現貝塚線)の一部区間の廃止等により旅客人員が前年同期に比較し 1.9%減となり、営業収益は 250 億 9 千 7 百万円(前年同期比 0.4%減)、営業利益は減価償却費の増加等もあり 16 億 4 千 9 百万円(前年同期比 0.6%減)となりました。

流通業では、ストア業における新規出店等により、営業収益は 238 億 3 千 2 百万円(前年同期比 2.4%増)となりましたが、営業利益は、ストア業の既存店の競合激化等により、4 億 8 千 8 百万円(前年同期比 20.4%減)となりました。

不動産業では、分譲業での販売戸数の減少等により、営業収益は 88 億 4 百万円(前年同期比 4.9%減)、営業利益は 18 億 9 千 3 百万円(前年同期比 5.6%減)となりました。

レジャー・サービス業では、利用運送事業(航空貨物事業)で輸出取扱高が減少したことや、旅行業が減収になったこと等により、営業収益は 259 億 7 百万円(前年同期比 2.7%減)となり、営業利益は 3 百万円の営業損失となりました。

その他の事業では、営業収益は 95 億 8 千 5 百万円(前年同期比 2.7%増)となりましたが、営業利益は 1 億 4 千 7 百万円の営業損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)全般の状況

総資産は、現金及び預金ならびにたな卸資産が増加しましたが、受取手形及び売掛金の減少等により前期末に比較し 2 億 3 千 6 百万円減少し、4,233 億 8 千 9 百万円となりました。また、有利子負債は、社債の発行等により前期末に比較し 34 億 2 千 9 百万円増加し、1,609 億 5 千 4 百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前期末に比較し 3 億 8 千万円増加し、1,162 億 2 千 8 百万円となりました。

(2)連結キャッシュ・フローの状況

営業活動により得られた資金は、税金等調整前四半期純利益 34 億 7 千 5 百万円、減価償却費 46 億 6 百万円等により、53 億 3 千 6 百万円となりました。

投資活動により使用した資金は、固定資産の取得による支出が 70 億 4 千 5 百万円、受託工事金等の受入が 26 億 6 千 1 百万円等で 35 億 6 千 2 百万円となりました。

財務活動により得られた資金は、借入金の純減が 15 億 7 千万円、社債の純増が 50 億円等で 21 億 5 千 9 百万円となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は 295 億 3 千 4 百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 10 日付で公表いたしました業績予想を中間期、通期ともに見直しています。

(1) 平成 20 年 3 月期中間連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	177,600	8,300	7,400	3,600
今回予想 (B)	173,700	7,300	6,300	2,900
増減額 (B - A)	3,900	1,000	1,100	700
増減率 (%)	2.2	12.0	14.9	19.4
(参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期中間)	172,747	9,554	8,926	4,394

(2) 平成 20 年 3 月期通期連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	370,800	18,600	16,500	8,000
今回予想 (B)	366,800	17,000	14,900	7,000
増減額 (B - A)	4,000	1,600	1,600	1,000
増減率 (%)	1.1	8.6	9.7	12.5
(参考) 前期実績(平成 19 年 3 月期)	355,301	20,071	18,655	8,763

(見直しの理由)

利用運送事業(航空貨物事業)において輸出取扱高が計画を下回っていることや、ストア業における既存店の競合激化等の第 1 四半期の業績動向に加え、自動車業における最近の原油価格の高騰に伴う燃料費の増加等を見込みました。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当する事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当する事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当する事項はありません。

5. 要約四半期連結財務諸表

(1)要約四半期連結貸借対照表

科 目	前 期 末 (平成19年3月31日現在)		当 第 1 四 半 期 末 (平成19年6月30日現在)		増 減 金 額	[参考]前第1四半期末 (平成18年6月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資 産 の 部)	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円	%
流 動 資 産	101,623	24.0	103,215	24.4	1,591	106,358	24.8
現金及び預金	25,850		29,782		3,932	36,179	
受取手形及び売掛金	37,887		31,521		6,366	30,562	
たな卸資産	30,462		33,034		2,572	30,069	
その他の流動資産	7,423		8,876		1,453	9,545	
固 定 資 産	322,002	76.0	320,174	75.6	1,827	323,270	75.2
有形固定資産	262,002		260,619		1,382	261,266	
無形固定資産	5,592		5,383		208	5,815	
投資その他の資産	54,407		54,171		235	56,187	
資 産 合 計	423,625	100.0	423,389	100.0	236	429,628	100.0
(負 債 の 部)							
流 動 負 債	124,106	29.3	111,078	26.2	13,027	133,683	31.1
支払手形及び買掛金	43,060		35,733		7,327	33,239	
短期借入金・1年以内償還社債	51,565		41,972		9,593	69,861	
その他の流動負債	29,480		33,372		3,892	30,582	
固 定 負 債	183,671	43.4	196,083	46.3	12,411	184,137	42.9
長期借入金・社債	105,959		118,982		13,023	104,211	
預り保証金	52,643		52,384		258	52,870	
その他の固定負債	25,068		24,715		353	27,055	
負 債 合 計	307,778	72.7	307,161	72.5	616	317,821	74.0
(純 資 産 の 部)							
株 主 資 本	97,634	23.0	98,091	23.2	457	92,367	21.5
評価・換算差額等	15,881	3.8	15,772	3.7	108	17,380	4.0
少数株主持分	2,331	0.5	2,363	0.6	31	2,059	0.5
純 資 産 合 計	115,847	27.3	116,228	27.5	380	111,807	26.0
負 債 、 純 資 産 合 計	423,625	100.0	423,389	100.0	236	429,628	100.0

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

(2)要約四半期連結損益計算書

科 目	前 第 1 四 半 期 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 6月30日)		当 第 1 四 半 期 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 6月30日)		増 減		[参考]前期 (自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	率	金 額	百分比
営 業 収 益	百万円 84,152	% 100.0	百万円 83,893	% 100.0	百万円 259	% 0.3	百万円 355,301	% 100.0
営 業 費	79,514	94.5	79,943	95.3	429	0.5	335,230	94.4
運 輸 業 等 営 業 費 及 び 売 上 原 価	74,122		74,508		386		312,355	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	5,391		5,435		43		22,875	
営 業 利 益	4,638	5.5	3,950	4.7	688	14.8	20,071	5.6
営 業 外 収 益	666	0.8	654	0.8	12	1.8	1,904	0.6
営 業 外 費 用	831	1.0	919	1.1	87	10.5	3,319	0.9
経 常 利 益	4,473	5.3	3,685	4.4	788	17.6	18,655	5.3
特 別 利 益	6,340	7.5	1	0.0	6,339	99.9	9,047	2.5
特 別 損 失	6,499	7.7	211	0.3	6,288	96.7	11,310	3.2
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,314	5.1	3,475	4.1	838	19.4	16,393	4.6
法人税、住民税及び事業税	2,917	3.4	2,557	3.0	360	12.4	7,171	2.0
法人税等調整額	908	1.1	813	1.0	95	-	167	0.0
少数株主利益	64	0.1	73	0.1	8	13.7	290	0.1
四 半 期 (当 期) 純 利 益	2,240	2.7	1,657	2.0	582	26.0	8,763	2.5

(注) 1.記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

2.百分比は、営業収益を100とする比率です。

(3)要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第1四半期	当第1四半期	[参考]前期
	(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
	百万円	百万円	百万円
・営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,314	3,475	16,393
減価償却費	4,216	4,606	18,482
売上債権の減少額	5,296	3,459	1,207
たな卸資産の増加額	1,079	2,527	1,602
仕入債務の増減額	4,502	3,572	720
法人税等の支払額	4,243	3,673	7,505
その他の	3,636	3,569	1,718
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,639	5,336	29,413
・投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産の取得による支出	6,309	7,045	22,770
受託工事金等の受入	1,881	2,661	3,033
その他の	867	821	77
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,295	3,562	19,659
・財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金を増減額	116	1,570	1,431
社債を増減額	8,000	5,000	7,000
配当金の支払額	1,187	1,187	2,375
その他の	58	83	133
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,869	2,159	10,940
・現金及び現金同等物に係る換算差額	27	2	172
・現金及び現金同等物の増減額	9,241	3,935	1,013
・現金及び現金同等物の期首残高	26,612	25,599	26,612
・現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	35,853	29,534	25,599

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

(4)セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期(自平成18年4月1日至平成18年6月30日)

(単位 百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益	25,201	23,280	9,257	26,626	9,335	93,702	(9,549)	84,152
営業費	23,542	22,667	7,251	26,263	9,391	89,116	(9,602)	79,514
営業利益	1,659	613	2,005	363	56	4,585	52	4,638

当第1四半期(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

(単位 百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益	25,097	23,832	8,804	25,907	9,585	93,227	(9,333)	83,893
営業費	23,447	23,343	6,910	25,911	9,733	89,347	(9,403)	79,943
営業利益	1,649	488	1,893	3	147	3,880	69	3,950

(注) 1.記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

2.事業区分の方法

日本標準産業分類をベースに、経営の多角化の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、事業を区分しています。

3.各事業区分の主要な事業内容

運輸業 鉄道事業、バス事業等を行っています。

流通業 ストア業、石油製品販売業、フォークリフト販売業等を行っています。

不動産業 不動産賃貸業、不動産分譲業、不動産管理業等を行っています。

レジャー・サービス業 利用運送事業、ホテル業、広告代理店業等を行っています。

その他の事業 整備・解体・修理業、自動車製造業、電気工事業等を行っています。

4.当第1四半期及び前第1四半期における営業費は、全額各セグメントに配賦しており、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費はありません。